



4-850-0504 WV-BG-4
クイックマニュアル

wivia のコンピューターからの基本的な使い方です。ご使用前に裏面の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。詳しい機能については wivia サポート Web サイトからダウンロードできる取扱説明書をご覧ください。

wivia サポート Web サイト：http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html

※ このクイックマニュアルは、下記のバージョンの wivia に対応しています。
wivia 本体ファームウェア 4.0.0.0 以降 / wivia ソフトウェア 3.5.0.0 以降

※ 説明の画面は実際の画面と異なることがあります。

※ wivia® は、株式会社内田洋行の登録商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、® などのマークは記載していません。

0 はじめに

1 必要な機器を用意してください。



※ 有線 LAN 接続で使用する場合は、無線 LAN を搭載していないコンピューターからもお使いいただけます。

1 wivia 本体を設置する

1 wivia 本体に付属のアンテナを接続します。

2 VGA ケーブルまたは HDMI ケーブルを wivia 本体と表示装置に接続します。

※ 音声を使用する場合は、オーディオケーブルを wivia 本体背面のステレオミニ端子とスピーカーに接続します。(VGA ケーブルを使用する場合)

※ HDMI ケーブルを使用する場合は、オーディオケーブルの接続は不要です。

3 付属の AC アダプターを wivia 本体の電源コネクターと電源コンセントに差し込みます。

4 表示装置の電源を入れます。

5 wivia 本体のスイッチを押し、電源を ON にします。

※ 1 分ほどで表示装置に wivia の待機画面が表示されます。その後、電源ランプが青く点灯したら接続できます。

※ wivia 本体は電源の ON/OFF ができる場所に設置し、使用後は電源を OFF にしてください。

2 コンピューターの無線 LAN を wivia 本体に接続する



1 コンピューターの無線 LAN を ON にします。



2 待機画面左下に表示されている SSID のネットワークに接続を切り換えます。



※ 無線ネットワークの接続切り換え方法はお使いのコンピューターによって異なります。標準の切り換え方法は下記「無線ネットワークの切り換え方法」をご覧ください。

※ 投影画面に SSID が表示されていない場合は、ネットワーク構成を管理者に確認し、wivia が接続されているネットワークにコンピューターを接続してください。

※ wivia 本体を既存のネットワークに接続して使用する場合には、「設定」ボタンから「検索の設定」を選択し、検索するネットワークに wivia が接続されているネットワークを追加することもできます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

3 ネットワーク接続が確認できたら、3 または 4 を参照し、wivia ソフトウェアを起動してください。

無線ネットワークの切り換え方法

無線ネットワークの切り換え方法はお使いのコンピューターによって異なります。ここに説明のない OS での切り換え方法については、OS のヘルプやメーカーの提供する取扱説明書等をご覧ください。

Windows 8 での SSID の切り換え方法



画面の右端からチャームを表示し、「設定」を選択すると、設定チャームが表示されます。設定チャームでネットワークのアイコンを選択すると、Wi-Fi (無線ネットワーク) が一覧表示されます。

表示されたリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください。

Windows 7 での SSID の切り換え方法



タスクバーに表示されているアイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選択し、「ネットワークと共有センター」から「ネットワークに接続」を選択すると同様の画面が表示されます。

表示されたリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください。

Windows Vista での SSID の切り換え方法



タスクバーに表示されているアイコンをクリックし、表示されるメニューから「ネットワークに接続」を選択します。

(アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選択し、「ネットワークと共有センター」から「ネットワークに接続」を選択すると同様の画面が表示されます)

表示されたリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください。

Mac OS X での SSID の切り換え方法



メニューバーに表示されているアイコンをクリックし、表示されるリストの中から接続したい SSID を選択します。

(アイコンが表示されていない場合は、システム環境設定から「ネットワーク」を開き、Wi-Fi (AirMac) の設定画面で「メニューバーに Wi-Fi (AirMac) の状況を表示」のチェックボックスにチェックを入れるとアイコンが表示されます。)

表示されたリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください。

3 wivia ソフトウェアを wivia 本体からダウンロードして使う



※ ソフトウェアを wivia サポート Web サイトからダウンロードする方法もあります。
→ その場合は 4 へ

1 Web ブラウザを起動し、アドレスバーに待機画面左下に表示されている IP アドレスを入力します。

※ 2 を行った後で行ってください。



2 ダウンロードページから wivia ソフトウェアをダウンロードします。

※ ご使用のコンピューターの OS に合った wivia ソフトウェアをダウンロードしてください。

※ 一部の機能には追加ソフトウェアのインストールが必要です。取扱説明書をご覧ください。



3 ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、表示される画面に従ってインストールします。

※ インストールはコンピューターの管理者ユーザーで行ってください。



4 (Windows の場合) デスクトップの wivia アイコンをダブルクリックします。



(Mac OS X の場合) 画面下部の Dock の wivia アイコンをクリックします。



5 wivia ソフトウェアが起動し、wivia 名 (画面名) がリスト表示されます。

※ リストに wivia が表示されない場合は、「リスト更新」ボタンで再検索してください。それでも解決しない場合は、「オプション」メニューの「検索の設定」と、ネットワークの接続を確認してください。



4 wivia ソフトウェアを Web からダウンロードして使う



※ ソフトウェアを wivia 本体からダウンロードする方法もあります。
→ その場合は 3 へ

1 wivia サポート Web サイト <http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html> から wivia ソフトウェアをダウンロードします。

※ ご使用のコンピューターの OS に合った wivia ソフトウェアをダウンロードしてください。

※ 一部の機能には追加ソフトウェアのインストールが必要です。取扱説明書をご覧ください。



2 3 の 3 以降の手順に従ってインストールし、wivia ソフトウェアを起動します。

※ wivia ソフトウェアは、2 を行った後で起動してください。

5 画面を投影する



※ お使いのコンピューターの画面を、表示装置にそのまま表示する場合に使います。
→ 動画ファイルをスムーズに表示したい場合は 6 へ

1 投影したい画面の [wivia] をクリックします。

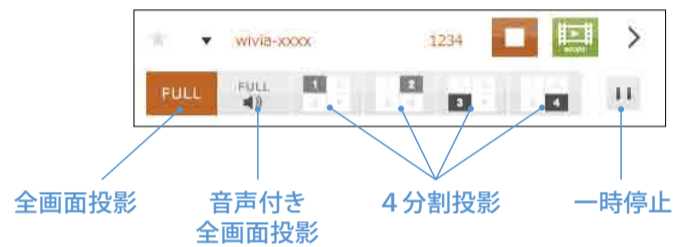
※ wivia KEY の入力画面が出る場合、待機画面左上に表示されている wivia KEY を入力してください。



2 音声付き投影や 4 分割投影を行いたい場合、操作したい画面のマークまたは画面名をクリックします。



3 表示されたボタンで操作します。



4 [wivia] をクリックして投影を終了します。

6 動画を再生する



※ お使いのコンピューターにある動画ファイルを、wivia で再生する場合に使います。表示装置には再生した動画のみが表示されます。

→ コンピューターの画面をそのまま表示したい場合は 5 へ

1 投影したい画面の [MOVIE] をクリックします。

2 再生したいファイルを選択します。

※ 動画は投影画面に表示されます。手元の PC の画面には表示されません。

※ サポートされるファイル形式は、裏面「対応動画ファイル形式一覧」をご参照ください。



※ Windows 8 の画面です。

3 表示されたボタンで操作します。



4 [MOVIE] をクリックして再生を終了します。

wivia サポート Web サイトからダウンロードできる取扱説明書もご覧ください。

- 表示装置や設置環境に応じた設定について
- クイックマニュアルにない詳しい機能について

<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html>

■ 無線 LAN 仕様

規格：IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz、IEEE 802.11a/n 5GHz (切替利用)
 通信距離：最大 100m (ただし障害物がない場合)
 最大通信速度：300Mbps
 セキュリティ：IEEE Standard 64/128bit WEP、
 WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-Enterprise

■ 有線 LAN 仕様

規格：IEEE 802.3 (10BASE-T) / IEEE 802.3u (100BASE-TX) / IEEE 802.3ab (1000BASE-T)
 最大通信速度：10/100/1000Mbps (オートネゴシエーション)
 PoE 規格：IEEE 802.3at Type 1

■ 映像出力解像度

アナログ (VGA)：SVGA (800×600) / XGA (1024×768) / HDTV (1280×720) /
 WXGA (1280×768, 1280×800) / FWXGA (1360×768) /
 WXGA+ (1440×900) / UXGA (1600×1200) / FHD (1920×1080)
 デジタル (HDMI)：720p (1280×720) / 1080i (1920×1080) / 1080p (1920×1080)

■ インターフェイス

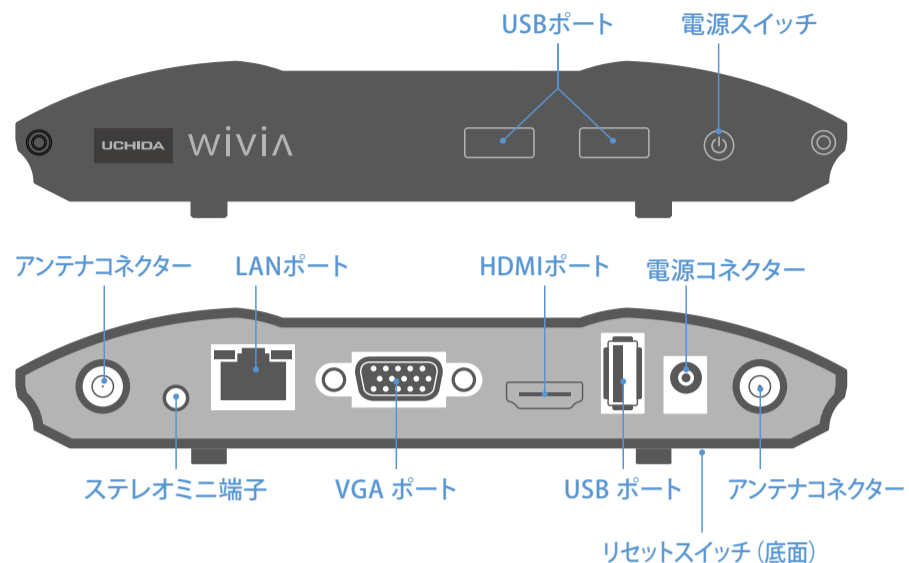
VGA 15ピン×1、HDMI×1、RJ-45コネクタ×1、ステレオミニ×1、USB 2.0×3

■ 専用ソフトウェア動作環境

OS：Windows Vista / 7 / 8 / 8.1、Mac OS X 10.7 ~ 10.10、
 iOS 7 以上、Android 4.0 以上

■ ハードウェア仕様

電源 (AC アダプター)：入力：AC 100V-240V 50/60Hz 0.6A
 出力：DC5V 2.6A
 電源 (PoE 受電)：最大13W DC48V 0.35A
 外形寸法：159 (W) × 91 (D) × 29.9 (H) mm
 動作温度 / 保管温度：0 ~ 40℃ / -10 ~ 60℃
 動作湿度 / 保管湿度：80% 以下 / 90% 以下 (ただし結露の無い状態)
 本体重量：275g



故障かな?と思ったら

■ 設置・準備

表示装置に wivia の待機画面が表示されない

全てのケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。また wivia 本体の電源スイッチのランプが青色に点灯しているかご確認ください。
 HDMI ケーブルで接続している場合、表示装置によっては wivia 本体の解像度の設定を変更する必要がある場合があります。

wivia ソフトウェアをインストールできない

一般ユーザー権限のユーザーでは、wivia ソフトウェアのインストールができません。wivia ソフトウェアのインストールは管理者権限を持つユーザーで行ってください。または、取扱説明書に記載の手順であらかじめ起動 USB メモリーを作成して wivia ソフトウェアをお使いください。

USB から起動できない

セキュリティソフトウェアなどにより、USB メモリーへのアクセスをブロックされることがあります。セキュリティレベルを低く設定するか、システム管理者にお問い合わせください。

wivia 本体に接続できない

wivia 本体の電源スイッチのランプが青色に点灯しているかご確認ください。
 コンピューターの無線 LAN が有効になっているか、またはコンピューターに有線 LAN ケーブルが接続されているかご確認ください。
 コンピューターが接続しているのが wivia と同じネットワークであるかご確認ください。wivia 本体を既存のネットワークに接続している場合、wivia ソフトウェアの検索の設定で wivia 本体の IP アドレスをリストに追加してご確認ください。
 セキュリティソフトウェアのパーソナルファイアウォール機能によりネットワーク通信が制限されることがあります。セキュリティソフトウェアを無効にするか、wivia による通信を許可する設定を行ってください。

■ 投影モード

投影できない

wivia ソフトウェアのリスト更新ボタンを押して再検索し、再度投影ボタンを押してください。
 wivia 本体がカンファレンスコントロールモードで動作しているときは、カンファレンスコントロール画面以外から投影を操作することはできません。
 セキュリティソフトウェアのパーソナルファイアウォール機能によりネットワーク通信が制限されることがあります。セキュリティソフトウェアを無効にするか、wivia による通信を許可する設定を行ってください。

画面の一部が投影されない

一部の CAD ソフトウェアのような OpenGL を多用するソフトウェアや、DirectX を多用するソフトウェア、および一部のポップアップ画像などは wivia 本体に正しく投影されないことがあります。Windows 用 wivia ソフトウェアでは、投影の設定で DirectX 表示モードを選択することで正しく投影される場合があります。解決しない場合は、PC と表示装置を直接接続してください。

遅延して投影される

wivia はネットワークを介して画面データを wivia ソフトウェアから wivia 本体へ転送します。ネットワーク帯域やネットワークの利用状況によっては、投影の遅延や停止が発生することがあります。正確にこれらの画像を投影したい場合は、PC と表示装置を直接接続してください。

投影画面で動画がきれいに映らない

画面投影機能で動画をスムーズに再生できない場合は、画面投影機能ではなく動画再生機能をお使いください。

投影画面と同時に音声再生されない

HDMI ケーブルで接続している場合、表示装置が音声出力に対応しているかご確認ください。表示装置またはスピーカーの電源が ON であり、ミュートになっていないかご確認ください。
 wivia ソフトウェアで、音声付き全画面投影ボタンを押したかご確認ください。通常の全画面投影および 4 分割投影では音声は再生されません。
 Mac OS X の場合、wivia ソフトウェアに加え、仮想音声デバイス (Soundflower) がインストールされているかご確認ください。

■ 動画モード

動画再生モードで動画が正しく再生されない

wivia が対応しているファイルについては、下記対応動画ファイル仕様をご参照ください。
 Blu-ray Disc、HD DVD ディスクの動画については、一部再生できないものがあります。
 また、著作権保護機能 (HDCP) には対応していません。HDCP が必要な動画など、再生環境に制限のある動画は再生できないことがあります。
 これらのコンテンツを正確に投影したい場合は、PC と表示装置を直接接続してください。
 wivia 本体がカンファレンスコントロールモードで動作しているときは、動画再生をすることはできません。
 セキュリティソフトウェアのパーソナルファイアウォール機能によりネットワーク通信が制限されることがあります。セキュリティソフトウェアを無効にするか、wivia による通信を許可する設定を行ってください。

※ 対応動画ファイル仕様

| | |
|--------|--|
| フォーマット | MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-2 TS / MPEG-4 / WMV9 / MOV / Motion JPEG / MKV / AVI / ASF / DVR-MS |
| 映像 | MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-2 TS / MPEG-4* / WMV9** / QuickTime / Motion JPEG 1920×1080・30fps・20Mbps以内 * Microsoft MPEG-4 v1~3は非対応 ** WMV3/WVC1のみ対応 |
| 音声 | LPCM / AAC / MP3 / WMA 48KHz・320Kbps 以内 |

■ その他

管理画面にアクセスできない

ブラウザでのプロキシの設定によりアクセスできないことがあります。
 一部のブラウザでは正しく表示されないことがあります。
 ブラウザのセキュリティを高く設定していると、管理画面が表示できないことがあります。

管理画面で言語の切り替えができない

JavaScript を有効にしていないと、管理画面が正しく動作しないことがあります。ブラウザの設定で、JavaScript を有効にしてください。

最新のサポート情報は下記 wivia サポート Web サイトに掲載されております。こちらもあわせてご確認ください。

wivia サポート Web サイト

<http://www.uchida.co.jp/wivia/>

上記の方法で解決しない場合は、ウチダヘルプデスクまでご相談ください。
 サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下の情報をご用意ください。

- 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ご使用のコンピューターの型番、オペレーティングシステム名およびネットワーク環境
- ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめるか、スクリーンショットを保存してください)
- ご使用中の wivia のファームウェアおよびソフトウェアのバージョン

ウチダヘルプデスク

電話によるお問い合わせ：0120-550-956

携帯電話からは 047-700-8245 (通話料がかかります)
 受付時間 / 平日 (月~金) 9時~17時 (弊社休業日を除く)

Eメールによるお問い合わせ：wivia-help@esco.co.jp

本製品を安全にご使用いただくために

wivia サポート Web サイトに掲載されている本製品に関する最新の情報をご確認ください。

また、以下の場合には、導入前にシステム管理者にご確認ください。

- 本製品を既設のネットワークに接続して利用する場合
- セキュリティソフトのパーソナルファイアウォール機能を使用している場合

wivia サポート Web サイト

<http://www.uchida.co.jp/wivia/>

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品のご利用に際して、「安全上のご注意」に記載されている警告及び注意をご覧いただき、必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、「感電」「火災」「故障」などが発生する可能性があります。これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には、速やかに本製品の利用を中止し、ウチダヘルプデスクまでお問い合わせください。（「故障かな?と思ったら」をご参照ください）

警告 この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

禁止（してはいけないこと）を示します。

指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

■ 設置および保管に関して

警告

動作環境範囲外で本製品を使用しないでください
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

直射日光のあたる場所や暖房器具の近くで本製品を使用しないでください
本製品が過熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

温度変化の激しい場所で本製品を使用しないでください
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

本製品を分解、改造しないでください
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

表示装置の取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください
表示装置の取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ 電波に関して

注意

2.4GHz 帯無線 LAN について
本製品が使用する 2.4GHz 帯の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の免許を要する構内無線局、アマチュア無線局、免許不要の特定小電力無線局などが運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本製品とこれらの無線局との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用チャンネルまたは使用場所を変更するか、本製品の無線 LAN 機能を停止してください。その他、電波干渉の事例などお困りのことが起きた際は、販売店または wivia ヘルプデスクへお問い合わせください。

本製品を 2.4GHz 帯で使用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として 1ch・6ch・11ch のいずれかに設定することを推奨します。

本製品を 2.4GHz 帯でチャンネル帯域幅 40MHz で使用する際には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。

万一、電波干渉が発生した場合は、取扱説明書を参照し、速やかにチャンネル帯域幅を 20MHz に変更してください。

IEEE802.11b/g/n
2.4 DS/OF 4

5GHz 帯無線 LAN について
本製品の 5GHz 帯 (802.11a/n) 無線 LAN の周波数帯のうち、W52・W53 (36～64ch) は、電波法により屋外での使用が禁じられていますので、屋内でのみお使いください。また、W53・W56 (52～140ch) は、法令により、各チャンネルの通信開始前に 1 分間のレーダー波検出を行うため、その間は無線通信を行えません。また、通信中にレーダー波を検出した場合は自動的にチャンネルを変更するため、通信が中断されることがあります。

IEEE802.11a/n
W52 | W53 | W56

■ 無線機器に関して

警告

医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示に従ってください
医療機関内の医療機器等を設置してある場所では、本製品の電源を切るか、無線 LAN 機能を無効にしてください。本製品の電波出力は規定に従ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示に従ってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示に従ってください
交通機関内では、本製品の電源を切るか、無線 LAN 機能を無効にしてください。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しているため、本製品は機内で使用しないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

注意

電子レンジの近くで本製品を使用しないでください
電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジ近くで本製品を使用しないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 取り扱いに関して

警告

本製品を重ねて設置しないでください
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

湿気やほこりの多いところに保管しないでください
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

本製品を長期間連続して使用しないでください
本製品を長期間連続して使用することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

注意

振動の多い場所や不安定な場所で本製品を使用しないでください
振動の多い場所や不安定な場所で本製品を使用することで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

コネクターや取り付け部分には触れないでください
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクターや取り付け部分に触れないよう注意してください。

落下や衝撃を与えないでください
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

その他のお願い

本製品は日本国内でご利用ください
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用は想定されていません。外国への持ち出し時に本製品の故障、または本製品に起因する事故が生じても、弊社はその責任を負いかねます。また、日本国内でご利用の際も、各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。

ご利用のコンピューターのデータのバックアップを取得してください
本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

本製品の使用用途について
本製品を高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、フェールセーフ設計や冗長設計などの措置を講じたうえでご利用ください。また、人命に関わる装置や社会インフラなど、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途には、本製品を使用しないでください。

異常（異臭や過度の発熱）に気づいた場合
故障や異常（異臭や過度の発熱）に気づいた場合は、AC アダプターを抜いてウチダヘルプデスクにご相談ください。

電波障害自主規制について
この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

廃棄方法について
本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

無線 LAN では、電波を利用して情報のやり取りを行うため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メール内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される
悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされる可能性があります。

本製品をご使用になる前に、取扱説明書のネットワークに関する設定の項目をよくお読みになり、セキュリティに関する適切な設定を行ってください。なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本製品を使用することをお奨めします。